事業者向け　児童発達支援自己評価

2021年度実施

事業所：すてっぷ

配布数：7、回収数：7、割合：100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・基準は満たしているが、もう少しスペースが広いと活動の幅も広がると感じている。 ・園外への活動を増やすなど工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・基準に沿って配置している。 ・クラスや子どもの状況によっては多めに配置し、細やかに関われるようにしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・活動スペースは一階であり、ほぼバリアフリー化されている。 ・ワンフロアーのため分かりやすい半面、バリエーションに乏しくなりやすい。パーテーションなどを用いて区切るなど工夫している。 ・個別になる空間の確保が難しい面がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日、朝・夕と掃除を行い、次亜塩素酸ナトリウムを用いて清掃をしている。 ・オゾン除菌脱臭機を以前から導入しており、感染症予防をしている。 ・活動に合わせ、パーテーションや巧技台等を用いて、空間を作るようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・会議や上司との面談で、業務改善に向けた意見を汲み取っている。また日々の気付きは毎日の振り返りの際に確認している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・引き続き保護者アンケートを実施し、業務の改善に繋げている。 ・園庭遊具（滑り台）を専門業者に確認してもらい、安全性の確認をしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・法人のホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・第三者評価は法人として導入している。今後、順次、第三者評価が入ってくる予定である。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・コロナウイルス感染症の影響のため、引き続きオンライン研修に参加をしている。また、法人内でもオンライン形式の研修を行っており、参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・保護者からの聞き取りや日々の活動の中で子どもの姿を確認し、アセスメント表にまとめている。全員ではないが、発達検査や知能検査を行うことで、より詳細に子どもの姿を掴めるようにしている。取りまとめたアセスメントを参考にし、個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・標準化されたアセスメントツールを参考にし、事業所の特徴に応じたものを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・ガイドラインに沿って個別支援計画に利用児童の支援目標や支援方法について記載するとともに、家族支援として送迎の実施や相談について記載し、説明している。地域支援については、関係機関との連携や生活状況に応じて相談支援に当たるとしている。今後も必要に応じて適宜見直しをしていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・毎月の職員会議、療育会議で個々の個別支援計画に沿った支援を確認している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・月案（一ヶ月の活動プログラムの案）は担当職員が中心となって案立てし、それを受けて日案（一日の詳細なプログラム）を職員全員で検討・組み立てをしてから、実行している。毎日の振り返りは出勤職員全員で行い、次の活動へ活かしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・子どもの姿を念頭に置きながら、季節を大事にした活動を提供できるようにしている。子どもの実態に応じて適宜、見直しを図るようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・個々人へ焦点をあてつつも、集団活動を意識したものとしている。 ・日々の振り返りや会議で出た意見を活動・計画へ反映できるようにしている。子どもの状況や活動内容によっては、個別活動や小グループでの活動などを組み合わせている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎朝の朝礼の際に事務連絡・利用児の確認・活動内容の確認・職員の役割などを確認している。また、終礼時にも翌日の確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・毎日、支援終了後に必ず振り返りの時間を取り、職員間で共有している。また、記録を取り、休みの職員も確認している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・支援終了後の振り返りは記録を取りながら行っている。支援の検証・改善へ繋げている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・半期に一度、定期的に見直しを行い、次に繋がる支援計画を作成している。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・子どもや保護者の状況に応じて、サービス担当者会議の依頼をすることもある。会議が開催される際は、担当者または児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・保健師、こども発達支援センター、関係機関との連携を日頃から心がけている。情報共有を含め、必要と感じた際は連携を取っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障がい児のお子さんの受け入れはしていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障がい児のお子さんの受け入れはしていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	・連携が必要なケースについては、情報共有を主とした連携を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・全員ではないが、就学先の学校と情報共有を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・児童発達支援センター主催の研修会等には参加するようにしている。 ・療育の内容等を含め、適宜、関係機関から助言を受け、日々の実践へ活かしている。 ・その他の研修会等への参加についても、可能な範囲で参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	・併行通園のお子さんが大半ということもあり、特別な試みは行っていない。 ・公園などで活動している際、公園にいる子どもたちと一緒に遊ぶことはある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・事業所管理者が自立支援協議会(福山市総合支援協議会)の部会へ委員として参加。 ・その他、関係機関・事業所が集まる連絡会等へも参加をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡帳を用いて日々の様子は伝えている。また、送迎時でも会話の中で子どもの様子を伝えあい共通理解が深まるようにしている。 ・必要に応じて電話での相談や面談等を行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・プログラムを組んでの支援は行っていない。 ・懇談会や個別相談を通して、大切なことや関わりについて話をしているが、コロナ禍が続いており、今年度も開催できなかったことが多かった。 ・親子クラスについては、振り返りの時間を設けて参加者全員で懇談をしている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・利用契約時に説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・ガイドラインを参考に計画作成をしている。 ・毎年、5月～6月、10月～11月、2月～3月に個別懇談の時間を取っている。その際、同意を頂き、ご署名(ご捺印)を頂くようにしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・本来は、参観日でのクラス懇談会が該当したのだが、コロナウイルス感染症対策のため、ほとんど出来なかった。しかし、必要に応じて、お話を伺い助言や支援等行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・回数は限られたが、コロナ感染がおさまっていた期間、クラス懇談を行った。 ・コロナ感染の状況に大きく左右されるが、保護者の繋がりが持てるような場は大切に考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・連絡帳を用いて、日々の様子や保護者の気持ちを書いていただいている。その日のうちに対応するよう心掛けている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・隔月で「つうしん」という名の会報を作成し、活動報告を行っている。 ・毎月、活動予定表を配布。活動の変更や案内等ある際は、その都度、案内文章をお渡ししている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報同意書を作成し、活用している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・子どもに対しては、例えば目で見て分かるような配慮・工夫を行っている。 ・懇談の際、理解が深まるよう文字や図を用いて説明をすることもある。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・事業所単位では行っていないが、法人として地域行事への参加を含め、法人が企画した行事等への参加をしていただいている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・各種対応マニュアルは策定しているが、状況を応じて見直しを行っていく。 ・災害を想定した退避訓練は行っている。 ・保護者への通知については改善していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・毎年、津波や火災を想定した退避訓練を行っている。 ・職員会等で、緊急時を想定したシミュレーションを行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・利用開始前(契約時等)、保護者の方から聞き取りをし、フェイスシートにも記載してもらっている。その情報を元に確認をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・保護者に確認をしている。現状は保護者確認で良いが、今後、必要な状況があれば、当然、医師に確認を取って行く。 ・エピペンを持って来られるお子さんもおられることから、保管場所・使用時について保護者と確認をしている。 ・クッキングを行う際は、保護者に事前に確認を取り、了解していただいた物を使用している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・法人規定のヒヤリハット報告書があり、活用している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・法人内には虐待防止委員会が設置されており、法人内で確認・共有できるようになっている。委員会主催の研修会も毎年、行われている(コロナウイルス対策の観点から、研修会は行われていないものの、各事業所毎での勉強会は行われた)。 ・事業所内でも虐待に関する部会を設け、毎月行われる職員会にて議題を設けている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・計画への記載はしていないが、契約書へ記載し説明を行っている。 ・危険な行動があった際、場合によっては行動を止めることもある。 ・引き続き身体拘束を含め、権利擁護について学んでいく。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等向け　児童発達支援評価表

2021年度実施

配布数:44、回収数:37、割合:84%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	計	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	2		2	37	・いつも色々な活動をして下さってありがとうございます。	基準は満たしていますが、屋内や園庭の広さには限界があります。引き続き、工夫をしながら対応していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	35			2	37	・職員さんが多いので、保育所より目が届くのが安心です。 ・子ども1名に対して必ず1名の先生が付いてくれているので良いと思います。 ・子どもに寄り添い、個々に合った対応をして下さり、子どもも安心していつも楽しみに通わせていただいています。	配置基準は満たしています。今後も積極的に学ぶ姿勢を変えず、質の向上に努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ⅰになっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	36	1			37	・子どもが本を読みたいと思えば本のコーナーに向かい、外で遊びたいと思えば、キックバイクやスコップが置かれている場所に向かうので適切になっていると思われる。	子どもの生活年齢を考え、クラスによって生活導線を変えています。 見えることで気持ちが逸れる可能性もあるため、朝の会など、お集まりする場からは見えにくい場所に絵本コーナーや遊具置き場を配置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	36			1	37	・終了後には、先生方が床掃除をされているので清潔だと思われるが、アルコール消毒が置かれているので、入室の際には「消毒をしてから入って下さい」ともっとコロナに対して明確に伝えた方が良いのではないかと思います。	利用終了後に、室内の掃除と消毒を行い、利用開始前にも同様に掃除と消毒を行っています。送迎車や遊具等についても同様の対応をしています。コロナが長引き、感染対策についても重視しています。引き続き、皆さまにも協力していただきながら運営していきたいと思います。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ⅱが作成されているか	36	1			37	・毎回、懇談の時にいただくプランを見ると「自分の子のプランだな」と感じるで、正しく作成されていると思う。	利用開始前に、保護者の皆さんからお話を伺い、お子さんの様子も確認できた上で計画作成を行っています。 大切にしていることは、子どもの主体性を大切にしながら、健康なからだ作り、基本的な生活習慣、人との関係作りとコミュニメーション、生活経験などが広がり育っていくことです。ガイドラインの説明はしていませんが、同様のことが記されています。 日々の振り返りを元に、毎月、会議を設け、子どもたちの姿を確認しながら、大切にしてあげたいこと・経験させてあげたいことなどを活動に取り入れています。 コロナの影響で自粛・縮小した活動もありましたが、子どもたちに少しでも楽しい・ワクワクする活動が提供できるようにしていきます。 懇談やお便り等で活動の狙いや意図をお伝えできたらと思います。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34			3	37	・親が気になっているところを重点的に計画を作成してもらえています。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	37				37	・ことばの発達がだいぶ進みました。	
	8	活動プログラム※ⅲが固定化しないよう工夫されているか	35	1		1	37	・色んなプログラムを考えて下さっています。 ・季節に沿った遊びが毎月予定に組まれているので工夫されていると思う。 ・楽しそうな活動が色々あって良いです。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21	3	6	7	37	・保育所でもお友達と仲良く過ごせています。 ・すてっぷ以外の曜日は保育園に通っている。保育園でのお友達との関わりもある。 ・公園などで他の子と遊んだりしていることはあります。コロナもあり難しいと思います。	併行通園されているお子さんが大半ですので、現状では考えておりません。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36			1	37		利用開始前の説明会や契約の際、ご説明させていただいます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	35	1		1	37		懇談の際に、個別支援計画を元にお話しさせていただいています。ガイドラインを参考に計画作成しており、内容についても共通しております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ⅳ等)が行われているか	25	3	1	8	37	・子どもと生活をしている上で、困っていること、実際の場面で何を言って良いか分からなかった等、疑問に思うことを質問すると、先生から意見が聞けるので助かっている。	ペアレントトレーニングという形では行っておりませんが、出来る限り、保護者の皆さんの話を聞き、一緒に考えていくようにしています。その中で具体的な関わりや助言等をさせていただいています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	35	2			37	・概ね、理解できているが、迎えに行った際に具体的な様子を言われないことが増えた。利用して2年目だし連絡帳を見れば分かることだが、子どもに聞いたことと連絡帳の内容が違うこともあり、一言欲しいこともある。 ・保護者にも丁寧な対応をして下さるのでとても信頼できて相談も気軽に出来、幼稚園とも連携して下さるので安心して通うことが出来ました。	連絡帳を活用し、日々の様子をお伝えしています。また、保護者の方からのご相談等も出来る範囲ではありますが対応させていただいております。 単独通園の方については、どうしてもお話をする機会が限られてしまいます。その中で、十分なお話が出来ないこともあると思います。懇談の際に、丁寧にお子さんの姿を伝え、目標や大切なことをお伝えしていきます。 また気軽に話しかけていただけるよう顔の分かる関係作りが出来るよう努めていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	1			37	・面談も保護者の都合に合せて下さるので助かっています。 ・年に2回懇談があるので、その時に話が出来ている。 ・ともて満足している。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23	10	1	3	37	・コロナの影響や仕事の都合のため、ほとんど参加できないので分かりません。 ・コロナということもあり、参観日自体少なかった。参観日があっても保育園の行事と重なることもあったのでなかなか出られない部分もあった。 ・コロナで減ったのは仕方ないです。 ・コロナの影響なので仕方ないが、参観が少ない。 ・遠足もあり保護者の交流はありました。 ・コロナで活動が少ないため。	本来であれば、毎月1回、参観日を行い、保護者懇談会をしていますが、コロナの影響が続いており、参観日(保護者懇談会)が出来ない状況です。今年度は11月に保護者遠足、12月に参観日が出来たのみでした。 保護者が繋がっていくことで、日々の子育てを話し合ったり、少し先の未来を考えていくきっかけになると思っています。就労されている方も多くなっていますが、可能な範囲で保護者が集える場を作っていきたいと思います。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	37				37	・自分が体験して困ったこと、保育園での様子を毎週連絡帳に書いているので、それに対して先生から返事が書かれている。	普段は、連絡帳を通して日々の様子をお伝えし、相談への返事をさせていただいています。単独通園のお子さんについては、ゆっくりお話が出来る場が少ないため、不安に思われる方もおられるかもしれません。ご相談がありましたら、気軽に職員へ声をかけて下さい。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	2		1	37	・利用1年目は、迎えに行った時、今日の様子を一言言われていたが、今は無くなったように思う。こちらから今日の様子を聞けば答えてくれる。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	34			3	37	・定期的にカラーの会報をもらっており、子どもの楽しそうな姿が分かりやすいです。 ・すてっぷ通信、楽しみでよく見ています。子どもは好きで通っているので、活動の様子の写真がとても良い表情で映っています。	2ヶ月に1回「つうしん」という会報をお渡しし、活動内容や行事についてお伝えをしています。限られた内容ではありますが、すてっぷの様子・お子さんの様子を知っていただけたらと思っています。 自己評価の結果については法人のホームページへ公開しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	36			1	37		個人情報の取扱いについては、利用開始前に確認・同意を頂いております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	25	2	1	9	37	・説明はありましたが訓練をしているか聞いたことがないので良く分からないです。 ・コロナということもあり、アルコールが設置されているが、子どもたちも保護者もあまり使っているように思えない。気付く保護者はされていると思うが、もう少し厳しくしても良いのではと思う。例えば、入室する際、先生が出迎えた際、「消毒してから入ってね」等、声掛けをしてくれたら、こちらも意識出来るのではないかと思う。	各種マニュアルについては、説明会や契約時に説明させていただいます。感染症の予防については、毎日2回、清掃消毒を行い、事業所内の設備や備品の衛生管理に努めています。利用される皆さんへのお願いも増えていますが、声かけ等していきます。ご協力よろしくお願いいたします。 周知の方法については検討し改善していきます。 退避訓練は実施していますが、行っていないグループには報告しておりません。訓練の時期や報告の仕方は改善していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	6	1	15	37	・災害の訓練をした、という話を聞いたことがないです。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	37				37	・保育所よりすてっぷへ行くことを楽しみにしています。 ・週に1回ですが、とても楽しみにしており「明日すてっぷ？」とよく聞いてきます。 ・楽しく通っています。 ・とても楽しみにしている（特に子どもが）。 ・とても楽しんでいて日々の成長を感じられます。	保護者の皆さまにとって、安心してお子さんを預けていただける事業所を目指し、引き続き、努力していきます。 子どもたちにとっても「楽しかった！」「また行きたい！」と、子どもの気持ちが前のめりになるよう療育の充実を図っていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	37				37	・子どもが好きで通っているので大満足です。先生方に感謝です。利用1年目に比べたら子どもが成長している（変わってきている） ・本人がどの学年になっても楽しく通えているのでとても伸びたと思います。 ・子どもの成長を感じ、とても満足しています。 ・ともて満足している。 ・自然遊びや製作、クッキング等色んな工夫をした療育をして下さっているお陰で、チャレンジ精神やお友達との関わり方等、表情も明るく見違えるほどの成長が見られとても感謝しています。	

☆ **児童発達支援自己評価（保護者向け）は、保護者の皆さまに事業所評価をしていただき、その結果を集計・公表しています。**